

スポーツ・インテグリティ研修

リスクとの上手なつきあい方

ハラスメント篇

STEP

01 「スポーツ・インテグリティ」とは？

価値ある高潔な状態（スポーツ庁、2022）

本研修の目的

競技スポーツで起きるパワハラ問題の背景を理解し、個人・組織での予防に向けた考え方や対策を考える

STEP

02 「パワハラとは？」を改めて考える

パワハラの定義

立場の優位性を利用して、指導の範囲を超えて行う嫌がらせであり、結果として、肉体的、精神的な苦痛を与えたり、スポーツを行う環境を悪化させたりすること

「パワハラとは？」を改めて考える

実践ワーク①

悪口なんて言わない

あなたが、同僚から言われて「イヤだな」と感じる言葉はどれですか？

1. まじめだね

2. おとなしいね

3. 一生懸命だね

4. 個性的だね

5. マイペースだね

参考

酒井ほか（2016）トラブルにつながる行動の自覚を促す情報モラル授業の開発と評価—中学生のネットワークにおけるコミュニケーションに着目して—

実践ワーク②

「パワハラ」なんてしない！

選手時代をイメージし、仲の良い先輩選手 からされて「イヤだな」と感じることを、イヤな順に並べてみましょう

1 みんなの前でいじられる

2 ミスをしたら
大声で指摘される

3 自分の SNS を
チェックされる

4 オフの日にも連絡される

5 「気合」を入れるために
叩かれる

イヤだ

イヤじゃない

実践ワーク③

「パワハラ」なんてしない！

選手時代をイメージし、
あなたが、指導者からされて
「イヤだな」と感じることを、
イヤな順に並べてみましょう

- 1 みんなの前でいじられる
- 2 ミスをしたら
大声で指摘される
- 3 自分の SNS を
チェックされる
- 4 オフの日にも連絡される
- 5 「気合」を入れるために
叩かれる

イヤだ
↑
イヤじゃない

「トラブルが発生しやすいときって？」

人との「感覚」のズレ

自分は、「パワハラ」なんてしない！と想着いても・・・

自分は、「仲の良い先輩選手だから大丈夫だろう」と想着いても・・・

実践ワーク④

「パワハラ」なんてしない！

あなたが働く職場環境で
「イヤだな」と感じる雰囲気、
イヤな順に並べてみましょう

- 1 みんなの前でいじられる
- 2 ミスをしたら
大声で指摘される
- 3 自分の SNS を
チェックされる
- 4 オフの日にも連絡される
- 5 「気合」を入れるために
叩かれる

イヤだ
↑
イヤじゃない

人との「感覚」のズレ

自分は、「パワハラ」なんてしない！と想着いても・・・

「自分にとって良い雰囲気だから」と想着いても・・・

— パワハラそのものの理解を深める —

「ルールを守ればいい」（パワハラしなきゃいいでしょ）は「思考の停止」

他律とは・・・

自分の意志ではなく、他人の命令 などによって行動すること

自律とは・・・

常に自分の意志で 判断 しながら行動すること



Point

「他律」（ルールを守ればいい）だけだと「思考の停止」
自律に向けて「自分で考える」ことが重要

STEP 03 個人でのパワハラ予防とその考え方

一般的な方法とは異なる パワハラ予防のアプローチ

一般的なリスクマネジメント

過去検証型

不祥事の発生原因の分析



対策・ルールの検討



守らせるための規範意識を強化

創造的リスクマネジメント

未来思考型

不祥事の発生を想像



予期せぬ要因を可視化



リスク意識の向上

— パワハラをしてしまう場面とは？ —

前提

指導者から選手へのパワハラ場面

選手の状態



指導者の状態



環境



実践ワーク

手順

01

言ってしまいそうな具体的な選手を想像する

下のキーワードを参考にその選手と状況を考える（複数可）

選手の特徴	成績が上がっている	メンタルが強い	リーダー的な存在	今後を期待されている	主張が多すぎる
	成績が下がっている	メンタルが弱い	いじられキャラ	やる気が感じられない	主張が少ない
	文句や不満を口にする	よくサボるタイプ	提出物や連絡が遅い	話や指示を聞かない	LINEやSNSの使い方が気になる
関係性	家族ぐらいの関係	数年指導している仲	数回指導している仲	入部してすぐ	保護者もよく知っている

手順

02

言ってしまいそうな時の自分の気持ち・環境を想像する

下のキーワードを参考にその選手と状況を考える（複数可）

想い	教育の一環として	やる気を高めるため	プレッシャーをかけるため	メンタルを鍛えるため	試合に勝たせたいため
気持ち	イライラ	使命感	孤独感	責任感	不安
	夢中で	悲しさ	興奮	怒り	焦り
環境	2人きり	チームの皆の前	大会前	大会後	電話やLINE
	競技団体からのプレッシャーが強い	保護者からの期待が大きい	保護者も容認している	保護者から厳しくしてほしいと言われている	給与や予算が少ない

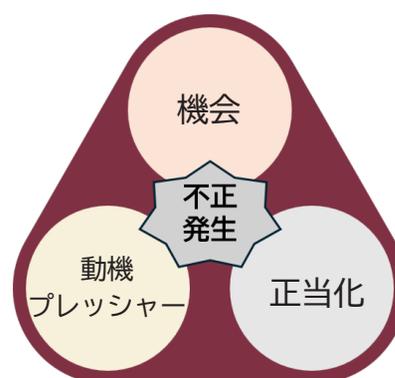
自分がパワハラをしてしまいそうな場面を具体的に想像してみましょう
（他の要因も入れて可）

STEP
04 組織でのパワハラ予防とその考え方

不正のトライアングル理論

不正発生の背景には3つの要因がある

1. 機会
例) 誰も見ていない
2. 動機・プレッシャー
例) 外部からのプレッシャー
3. 正当化
例) 選手の将来のため



「動機・プレッシャー」に注目した対策

実践ワーク

指導者・スタッフ間の 同僚性 を高めるための
各団体での公式・非公式な取り組みを共有しよう！

	やっていること	やってみたいこと
公式		
非公式		